

## オシメルチニブの有効性や安全性と体表面積との関係性を調べる研究

### 1. 研究の対象

2018 年 6 月 1 日～2022 年 7 月 31 日に当院でオシメルチニブの治療を受られた方

### 2. 研究目的・方法

EGFR チロシンキナーゼ阻害薬であるオシメルチニブは非小細胞肺癌における治療薬として有用性が示されています。オシメルチニブは開始用量が 80mg に設定されており、体格に関係なく一定用量で開始することとなっています。そこで、体表面積により有効性と安全性を明らかにするため、本研究を企画しました。2018 年 6 月 1 日から 2022 年 7 月 31 日までにオシメルチニブによる薬物治療を施行された症例を集積します。具体的にはカルテに記載された診察記事、臨床検査値などから患者背景や骨髄抑制の発現状況など各種情報を得ます。症例数は 100 名程度と想定しました。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、抗がん剤治療の治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号、血液検査値 等

### 4. お問い合わせ先

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

研究責任者

大阪国際がんセンター 薬局 田中 佐季

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上